SPECIAL INTERVIEW

人生は一度きり 自分を大切に楽しく生きたい

優木まおみ

（マルチタレント・身体美容家）

MC、キャスター、レポーター、歌手などマルチタレントとして、バラエティー番組や情報番組などで活躍する優木まおみさん。インスタのフォロワーは26万人。二児の母であり、ピラティスのインストラクターとしても積極的に活動しています。

新しいことを発見しながら、続けることを学んだ

小学生の時に、女性アナウンサーがアメリカ大統領に英語でインタビューしている報道番組を見て、アナウンサーに強いあこがれを抱くようになったという優木まおみさん。

「なぜアナウンサーになりたかったのか考えると、いかにして相手の考えていることや知りたい情報を引き出すことができるかなど、いろいろ考えたりするのが好きだったからだと思います」

新卒採用のアナウンサー試験を受けるも、どこも不採用。夢を諦めきれず、フリーアナウンサーを募集している芸能事務所に応募すると、見事合格。

仕事が徐々に増えていく中、バラエティやクイズ番組の出演で特に心掛けていたことがあるそうです。

「他の出演者に対して質問を投げかけたり、リアクションに注力して、番組の潤滑油のような存在を目指しました」

機転の利くトークや進行力を見込まれ、やがてある番組のMCに抜てきされました。アナウンサーになることはかないませんでしたが、それに近い形で夢を実現することができたのです。

「仕事が多忙を極めた時に、本当にこの仕事がやりたかったのかどうか、わからないと思うようになってきたんです。その時、事務所の先輩が『同じ現場でも飽きずに新しいことを発見しながら続けることが大切』、『始めるより、続けることが一番難しい』と言われたんです。求められる以上の成果を出していかないと次の仕事に続かないということは意識していましたから、この言葉を聞いて、それまでモヤモヤしていたものが吹っ切れました」

仕事と子育ての狭間で、「恩の受け渡し」に気づく

優木さんは32歳のときに結婚。出産してから仕事と育児を両立しようとしますが、その認識の甘さを痛感したそうです。

「仕事に専念すると子どもに中途半端な接し方しかできない、仕事をやめなければいけないかな、とか真剣に悩んだのですが、育児のために仕事をやめるというのは逃げているようで、続ける方法を考えました」

無理なく働ける時間帯で仕事をしたいと、優木さんは雑誌の仕事に力を入れるようになりました。夕方から夜間に働くのが難しくても、子どもと一緒にいられる時間が多くなり、精神的にも落ち着いたそうです。

「何でも自分でやるという考えが強くて、人に頼むことが苦手だったんですが、子育てを始めてから、一人では何もできないということに気づきました。子どもを預かってくれる人がいるから現場に行ける、ママ友から色々なことを教わるなど、自分一人で向き合うのでなく、助けてもらい、また自分も人を助けるという、恩の受け渡しの大切さに、子育てを通じて気づけました」

ある時、優木さんは身体の柔軟性を高め、強化し、バランスを整えるピラティスに出会います。優木さんはピラティスに魅せられ、インストラクターの資格を取得し、自身のサロンも立ち上げます。

「自分がやって良かったことを独占するのではなくて、他人にも分けてあげたい。その気持ちからピラティスのワークショップを開催しています。『教えてくれてありがとう』と直接言われることは、芸能の仕事ではあまりないことで、それが原動力になっています」

今、優木さんは自分がなってみたい人になる、生きてみたい人生を送ることが大切だと考えるようになりました。

「誰しも人生は一度きり。くよくよしながら生きるより、自分のことを好きになる。好きな自分に変わっていいと思う。『どうせ私なんて』と思うんじゃなく、『私だったらできる』と前向きに変えていく。自分を良くしてくれるのは自分。もっと自分を大切に、日々をなるべく楽しく生きていきたいですね」

優木まおみ　ゆうきまおみ
（マルチタレント・身体美容家）

1980年3月2日、佐賀県佐賀市生まれ。東京学芸大学卒業。MC、キャスター、レポーター、歌手として活躍。2016年、佐賀市プロモーション大使に就任。2019年、ピラティスのインストラクター資格を取得。

PRESENT

●サイン入り色紙　3名様

優木まおみさんのインタビュー映像をご覧いただけます。

※プレゼントの応募方法は19ページをご覧ください。